

伊藤大使のチリ海軍練習艦エスメラルダ号及び海洋博物館の訪問

令和6年10月24日、伊藤大使は、チリ海軍練習艦エスメラルダ号及び海洋博物館を訪問しました。旧エスメラルダ号(第3号)は、1894年に日本がチリから購入し、巡洋艦「和泉」と改名して就役した歴史を持っています。以来、エスメラルダ号は日本とチリの友好関係を象徴する艦艇であり、現在のエスメラルダ号(第6号)は何度も日本を訪問し、平成13年にはエスメラルダ号に対して外務大臣表彰が贈られています。伊藤大使は、艦長と共にエスメラルダ号を視察し、装備品や艦内にある日本と縁のある品々について説明を受けました。

同日、海洋博物館を訪問し、チリ海軍の歴史やチリの英雄であるプラット提督について、館長より説明を受けました。また館内には、日本からエスメラルダ号に対して贈られた外務大臣表彰状や、日本の武者人形などが展示されており、海洋に関する日本とチリの長い歴史を改めて認識する機会となりました。



エスメラルダ号艦長と艦内



日本人から贈られたエスメラルダ号の絵



エスメラルダ号甲板



海洋博物館館長と日本関連の展示品



海洋博物館にある日本の武者人形



エスメラルダ号に対して贈られた外務大臣表彰